

曾根小だより



発行：新潟市立曾根小学校

新潟市西蒲区曾根 750 (〒 959-0422)

Tel.0256-88-3128 (代) Fax.0256-88-3129

E-mail:e803daikan@city-niigata.ed.jp

特別号 (学校評価のお知らせ)

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

令和4年度 学校評価最終報告

日頃より当校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。今年度も、新型コロナウイルス感染症への対応で、教育活動に制約がある中、皆様の御協力により無事、年度末を迎えることができました。

当校は、学校教育目標「ともに かがやく」のもと「主体的・対話的で深い学びをめざした授業づくり (授業改善)」「自己肯定感を育む教育活動 (心の教育)」「思いやり、支え合いの態度を育む教育活動 (心の教育)」「互いに尊重し合う特別支援教育」「自分の生活を見つめ、よりよくしていく健康教育 (健康・体力の向上)」「地域の人、地域にある物を大切に思う総合学習や活動」の6つを重点目標として教育活動に取り組んでまいりました。令和4年度の教育活動を振り返り、学校評価の最終報告をお知らせいたします。

1 令和4年度の学校評価報告 (後期)

	評価項目	評価	
授業改善 学力向上	① 職員内部評価「日々の授業で3つのつながり (既習事項・仲間の意見・生活とのつながり) を意識して授業改善に取り組んでいる」で、7学級以上が総合A評価となる。 A 8学級以上 B 4～7学級 C Bに至らない	B	8学級中 5学級 62.5%
	② 授業の終末や家庭学習などで、学習した内容を振り返る活動をしている割合が80%以上 (※児童アンケート「学んだことを授業日記などでふりかえることができる。») ※前期は1年生を除く。 A 80%以上 B 60%～80% C Bに至らない	A	82.5%
	※参考：昨年度までの評価項目 ・授業中の考え表出の場で、自分の考えを表出している児童の割合。(児童アンケート「授業中進んで発表したり、友だちに考えを伝えたりしている。」「タブレットを使った授業で、自分の考えを発表したり、友だちの考えを見たり、聞いたりすることができる。」2つの合計数値)		79.5%
心の教育 生徒指導	① 自己肯定感・自己有用感について、肯定的な評価をしている児童が80%以上。(※児童アンケート「自分にはよいところがある」「やっていることを先生や友だちに認められて、嬉しいと感じることがよくある」の合計) A 85%以上 B 60%以上～85%未満 C Bに至らない	B	84.96%
	② いじめやトラブルの解決が100%となる。 A 100%以上 B 80%以上～100%未満 C Bに至らない	A	100.0%
特別支援 教育	① ユニバーサルデザインチェックリストを作成し、各学級の達成率が85%以上となる。 A 85%以上 B 70%以上～85%未満 C Bに至らない	A	96.3%

	② 「個別の指導計画」の見直しと情報交換及び共通行動を年2回行う。 A 年2回以上 B 1回 C Bに至らない	A	家庭数配付 2回以上実施 100.0%
体力向上	① 児童アンケート「運動が好きだ」の質問項目で、肯定的回答をする児童の割合が80%以上になる。 A 80%以上 B 70%以上～80%未満 C Bに至らない	A	90.5%
	② 児童アンケート「体育の授業で自分ができることが増えた」の質問項目で、肯定的回答をする児童の割合が80%以上になる。 A 80%以上 B 70%以上～80%未満 C Bに至らない	A	93.7%

◎ 各評価項目（目標）に対しての達成度は上記のとおりです。令和5年度は、さらなる向上を目指し、取り組んでまいります。

2 分析及び改善策

授業改善 学力向上	① 職員アンケートの結果、A評価5学級、B評価3学級でB評価でした。前期より改善しましたが、前期と同様、子どもの身近なところから課題を作ったり、学びを生活に活かしたりすることの評価がやや低い傾向にあります。 新型コロナウイルス対策が様々な場面で緩和され、子ども同士のかかわりやゲストティーチャーなど「ひと」、地域素材などの「もの」、体験活動などの「こと」とかかわりながらの学びが少しずつ戻ってきました。以前からの学びのよさと、この数年間で導入が進められたタブレットを活用した新しい学び方を効果的に融合させながら、深い学びをめざし、授業改善を進めていきます。 ② 児童アンケートで肯定的評価が82.5%でした。全校で統一して「授業日記」に取り組み、学んだ内容や方法を意識させることができるようになってきています。次年度以降も家庭学習と連動した授業日記を書くことで、振り返る活動の恒常化を進め、学習内容の定着や学習意欲の喚起につなげていきます。
心の教育 生徒指導	① 児童アンケートの肯定評価が84.96%でB評価でした。「自分にはよいところがある」は86.8%が肯定的評価でしたが、「先生や友だちから認められてうれしく感じる」が83.1%とやや低い結果となりました。次年度は、縦割り活動などあらゆる教育活動を通して、互いに認め合う風土を醸成し、自己肯定感を高めていきます。 ② いじめ・トラブルには、全校体制で取り組んでおり、解決が100%でした。この体制で、細かなトラブルも見逃さず、子どもたちが安心して過ごせる学校にしていきます。
特別支援 教育	① 職員アンケートの結果、教室環境や授業のUD（ユニバーサルデザイン）化の達成率は96.3%でA評価でした。次年度以降もUDの「曽根小スタンダード」を基に、誰もが学びやすい環境を整えるよう進めています。 ② 生活指導部と連携しながら児童理解の会を月に数回設定し、個別の教育支援計画、個別の指導計画に沿った支援や指導ができるように共通理解を進めました。また、これらの計画は対象となる児童・保護者のニーズに合わせて見直しを進めました。次年度も対象となる子どもの困り感が軽減されるように努めていきます。
体力向上	① 「運動が好きだ」という子どもの割合は90.5%でした。今後も、子どもたちが楽しみながら進んで運動に取り組み、親しめるよう、体育授業・体育的行事を進めます。 ② 児童アンケートの結果、肯定的回答は93.7%でした。今後も、運動技能を伸ばし、達成感が得られるように工夫し、体育授業の改善を進めていきます。

◎ 後期学校評価の詳細なデータ（児童アンケート及び保護者アンケートの集計）は、曾根小学校のホームページにも掲載しております。あわせて御覧ください。

新潟市立曾根小学校ホームページ

<http://www.nisihikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

※ 裏面に、保護者アンケートの御意見一覧を掲載いたしました。アンケートへの御協力たいへんありがとうございました。

（文責 学校評価担当 佐藤 智範）

